

## REAL KUAD 設立趣旨

### 前提:

近年クールジャパンと称賛され、国際的に評価の高い日本のサブカルチャー隆盛の陰で、クリエイター(コンテンツホルダー)育成現場は、小学校から高校にいたるまで著しい退潮を余儀なくされている。特にイギリスやイタリアが国家的取組としてデザインを前面に押し出し、韓国や中国も国策として体系的なデザイン教育を行おうとするなか、その乖離には愕然とせざるを得ない。

世界がアートやデザインを巨大な産業とみなして人材を育成するなか、相変わらず日本社会はこの分野を金にならない道楽と位置づけ、特殊なものとして理解しようとはしない。また、教育の現場でクリエイティブであることよりも、管理者として日常業務をこなすことを強いられる美術教員は、若い高校生にとって憧れるべき良きモデルとなるすべも無い。

大学全入の時代を迎え、魚のいなくなった海に魚網を投ずるような焦燥感に押しつぶされそうになるなか、私はここ数年の美術教育現場でのヒアリングを経て、この国の未来のために関係者が一丸となって荒地に植林を開始するほかは無いと結論に達した。

本学は京都にある一芸術大学にすぎないが、こども芸術大学から94歳の学生が在学する通信教育部まで有する極めて創造的な運動体という特質がある。また、有能なアーティストやデザイナー、教育者や研究者を有し、この困難に立ち向かうには、この大学をおいて無いと確信するに至った。

まずは小さな一歩ではあるが、日本各地で奮闘される高校・予備校の先生方のご意見を受け、以下のような取組を今夏より開始したいと考える。

### ただちに:

- ジュニアを育成する指導者へ、新たな指導法を学ぶ場を提供する。
  - プロのデザイナーやアーティストと指導者の交流を促す。
  - 削減される公教育現場における芸術教育を補完するため、地方の美術館を拠点に、系統だったアートやデザイン教育のネットワークと指導体制を組みあげる。
- ※ACOP(Art Communication Project)との連携

### 近い将来へ向け:

- デザインやアートが食えないという状況を変革し、この国におけるクリエイターの地位向上を図る。すでに本学では昨年より下記取組に着手済み。
- ※学生アートオークション  
※京都アート・デザインフェア(2010年)  
※アート&デザイン内需拡大のためコレクター教育  
※小山トミオギャラリーの京都進出

### 企業の人材育成支援:

- 国際競争力のあるアーティストやデザイナーを育成するため、日本の企業が日本人の若い学生を支援する体制を確立する
- ※三菱商事による学生作品の系統的買い上げ(今年から毎年2000万)  
※私学芸大に在籍する学生への奨学学費ローンの貸与(今後大手企業に働きかけを行う・奨学金とは異なる効果を生む)

関係諸氏の忌憚なきご意見を伺いつつ持続可能なシステム構築の一歩としたい。

空間演出デザイン学科長 椿昇